

一の解決策として強引におしつけようとしている。

当市議会は、これまでも幾度となく沖縄の過重な基地負担の問題解決を求め、政府に対して強く訴えてきた。

私たち沖縄県民は、米軍占領時代から保革を超えた島ぐるみの闘いで、土地取り上げに反対し祖国復帰を実現してきた。今、県民の魂と心の一つに大多数の県民の意思実現へ一貫として突き進む決意である。

よって、当市議会は沖縄への圧力を強め、政治家に公約の変更を迫り「多数県民の意思」を分断し、県知事に新基地建設のための公有水面埋め立て申請の許可を迫るなど、子々孫々の代まで米軍基地を強要しようとしている日本政府のやり方に、激しい怒りを禁じえない。同時に、市民、県民の生命と安全を脅かす、辺野古沖移設を強引に推し進める政府に対して激しく抗議し、多数県民の意思である普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去を強く求める。

(結果) 賛成多数で可決

平成二十五年度

経済民生委員会

行政視察報告

経済民生委員会（上門孝子委員長）では、去る十月二十七日から十月三〇日の日程で岩手県釜石市及び埼玉県を訪問し、行政視察を行いました。

釜石市においては、東日本大震災における被災の状況と課題及び防災教育について説明を聴取し、あわせて被災の状況及び復旧・復興状況等について現地調査を実施いたしました。

防災教育については、避難の三原則「①想定を信じるな、②どんな時でも最善を尽くす、③率先避難者になる」の考え方を地域へ浸透させるため、防災とは、子どもの命を守ることをキ



東日本大震災における釜石市の被災・復旧状況を視察する経済民生委員会

ワードに子どもから大人へ、大人から地域全体へ根付かせるべく学校現場が主体となつて取り組んでおり、その代表的な事例は東日本大震災時の子どもたちの避難行動としてNHKの番組等で「釜石の奇跡」として取り上げられております。

釜石市の現況としては、復旧から復興のステージとのことでありますので早期の完全復興を念願するとともに、本市においても防災教育をより一層推進する必要を強く感じました。

埼玉県においては、本市国民健康保険事業財政の慢性的な赤字状況の改善の参考とするため、保険財政共同安定化事業の見直しをはじめ市町村国保広域化等の積極的な取り組みについて説明を聴取しました。

埼玉県の国保広域化等支援方針は、保険税算定の標準化の施策として、保険税の賦課方式を四方式から二方式に統一することを掲げるなど全国でも類例の少ない特徴的な取り組みを進めており、平成二十七年以降の国保の県単位広域化に向けて参考となりました。

平成二十五年度

建設土木委員会

行政視察報告

建設土木委員会（仲嶺忠師委員長）では、去る十月二十七日から十月三〇日の日程で、兵庫県神戸市及び大阪府泉南市を訪問し、行政視察を行いました。



建設土木委員会を代表し、あいさつする仲嶺忠師委員長（泉南市）

造られ、また神戸港への貨物船、クルーズ船の誘致・各種イベント等の開催を通して市民に親しまれる広場であるとともに、観光客にも歴史あるみなと神戸をPRする絶好の観光施設であると印象を受けました。

泉南市においては、りんくうタウンの概要とマールビーチ及びサザンビーチについて説明を受けました。泉南市域のりんくうタウンの中央部には「イオンモールりんくう泉南SC」が所在し年間千二百万人の来場数で、りんくうタウンの海岸線に沿って続くマールビーチは、白色大理石玉石を敷き詰めた海岸で海岸全体が一瞬真っ白に輝いているかのようでした。また、サザンビーチは、関空島を眺めることができる海水浴場で、毎年多くの家族連れやマリンスレジャー等で賑わい、また、ウミガメが産卵のため上陸し多くの子ガメたちがビーチを巣立っていくという説明には驚きました。本市も新港地区に人工ビーチの整備が進められており参考となる視察でありました。